



CLOSE UP VOICE

丸昇彦坂建設株式会社
代表取締役社長 彦坂 友紀夫 さん

住宅から社会インフラまで
地域密着の総合建設企業

1968年の創業以来、地域に根ざした建設会社として着実に歩みを重ねてきた丸昇彦坂建設株式会社。住宅建築から始まり、商業・工業施設や公共工事へと事業領域を広げ、用地の調達から宅地開発・企画・設計・施工・アフターサービスまでを一貫して担う体制を確立してきた。さらに、専門性の高い各部門を戦略的に分社化し、「ヒコケングループ」を形成。卓越した技術力と現場力を背景に実績を積み重ね、地域からの厚い信頼を獲得してきた強みはどのように培われてきたのか、経営の根幹にある想いと次代を見据えた成長戦略について話を伺った。

分社化による個の強さ
ヒコケングループ

——貴社の事業内容を教えてください。
彦坂▼一般戸建住宅から共同住宅、商業・工業をはじめとする事業施設、さらには大規模工場・倉庫に至るまで、多様な建築物の企画・設計・施工・監理を一貫して手掛けています。
こうした「一貫体制を実現するため、それぞれの機能を担う各社で」「ヒコケングループ」を構成しています。その中

ビル及び本社工場を現在地に移転しました。1990年代には「一級建築士事務所」の開設やリフォーム事業の展開、名古屋営業所の開設などにより、住まいから建築物に関する多角的なネットワークを確立しました。
2000年代以降は、ISO9001認証の取得による品質管理体制の高度化に加え、システム建築（Yes s 建築）の導入により大規模施設分野へ領域を拡大。2020年には本社ショールームをリニューアルし、顧客接点の強化にも取り組んでまいりました。

グループ企業には不動産売買・分譲地開発を展開する「サンハウジング」、2×4（ツーバイフォー）パネル製造を担う「株式会社M・H・C・ランバー」、名古屋エリアで建設業務を行う「株式会社隼人建設」、LIXIL特約店としてリフォームを手掛ける「ライフア豊橋南」、さらにPFI事業による公共施設の維持管理を行う「豊北学校給食

株式会社」などがあり、それぞれの専門をいかした事業を展開しています。
これらを機能別に分社化することで専門性と機動力を高め、総合力を発揮しながら、住まいづくりにとどまらず、地域社会の基盤整備まで幅広く事業展開しています。

——貴社の沿革を教えてください。
彦坂▼豊橋市老津町にて、宮大工の系譜を継ぐ祖父が大工業を営んでおりました。1968年には現会長である父が個人創業し、1976年に「丸昇彦坂建設株式会社」を設立。以降、豊橋市明海町を中心に企業建築物を手掛けるとともに、高度経済成長期には住宅建築にも幅広く携わり、建築物を主軸として事業基盤の拡充を進めてきました。

1970年代半ばからは、不動産部門を立ち上げ、用地取得や宅地開発を推進するとともに、2×4工法を本格導入しました。現会長自らカナダへ渡り技術を学び「地震大国・日本に適した工法になる」と確信。自社2×4パネル工場を建設し、生産体制の強化を進めました。その耐震性は、1995年の阪神・淡路大震災で全・半壊ゼロという実績として証明され、2×4工法は全国的に高い信頼と認知を得ることとなりました。こうした先見性を背景に、1996年には株式会社M・H・C・ランバーを設立し、本社工場

——貴社の強みを教えてください。
彦坂▼当社の最大の強みは、用地探しから企画・設計・施工・監理、さらにはアフターメンテナンスに至るまでを自社で完結させる「一貫体制」にあります。各工程を統合的に捉えることで、初期段階から完成後まで事業全体を貫いた視点を持ち、最適な提案を実現し

私自身は、祖父の作業場で木材や大工道具に囲まれて育ち、幼少期より職人の手仕事に触れ、中高生時代の長期休暇には、建設現場での経験を積みながらこの業界を学んできました。同業他社での修業を経て当社に入社後も現場からキャリアをスタートしています。祖父の代から受け継がれる技術への真摯な姿勢と父が築いた強固な経営基盤、その双方を深く体得していることが、今日の経営の礎となっています。

——貴社の強みを教えてください。
彦坂▼当社の最大の強みは、用地探しから企画・設計・施工・監理、さらにはアフターメンテナンスに至るまでを自社で完結させる「一貫体制」にあります。各工程を統合的に捉えることで、初期段階から完成後まで事業全体を貫いた視点を持ち、最適な提案を実現し

Yukio Hikosaka

INTERVIEW



丸昇彦坂建設株式会社
豊橋市大崎町字伊豆沢37の1
tel.0532-25-4525

「我々にしかできない仕事で、笑顔と価値ある未来を創造する」と再定義しました。その浸透を図る取り組みとして、毎日10分間の「夕礼」を実施しています。

少数のグループに分かれ、方針書をもとに議論を交わし、日々の業務と照らし合わせながら理念を具体的な行動へ落とし込む場としています。過去の失敗事例も積極的に仲間と共有することで、経験の浅い社員にとっても実践的な学びの機会となり、組織全体の成長を加速させています。

若手人材の育成においては「スキルアップシート」を活用し、設計・工務・営業の部門ごとに、入社後2カ月、6カ月、1年といった時間軸に沿った到達目標と習得項目を細かく体系的に整理しています。各項目には自己評価と上司評価を設け、達成度を記録することで個々のスキルレベルを可視化し、個々の現在地を客観的に把握できる

可能な2×4工法を導入し、住宅のみならず各種建築へと展開してきました。本社に隣接する工場に木材のプレカット機能を整備し、生産体制を構築。現在では、年間約10万㎡規模に対応、住宅換算で1日平均約3.5棟を生産する能力を有しており、その生産力を背景に大手メーカーへの供給も担っています。

また、住宅のオープンハウス(完成見学会)の積極的な開催や広報活動の強化により顧客接点を広げたことも、住宅事業の成長を後押ししました。チラシの制作・配布や各種メディアへの掲載にも力を注ぎ、認知度の向上と情報発信の強化を図り、個人住宅の受注拡大につながりました。

一方で、近年は世界的な木材不足、いわゆるウッドショック以降、建材価格の高騰が続く、さらに金利上昇も重なって、住宅分野の事業環境は厳しさを増しています。その反面、工場や物流施設などの設備投資は拡大傾向にあります。こうした環境変化を新たな転機と捉え、大型案件に対応できる技術力の強化や、組織体制の整備を進めています。時代のニーズを的確に捉えた工法選択と生産体制の確立、そして環境変化への柔軟な対応が、当社の成長を支えてきた原動力であると考えています。

大型案件に応える「Yes 建築」システム建築

仕組みとしていきます。これにより、自身の強みや課題を認識し、次の行動指針を明確にすることができるとともに、属人的になりがちな技術継承を標準化し、組織としての育成力の底上げを図っています。

——今後の目標や将来のビジョンについて教えてください。

彦坂▼豊橋市大清水エリアにおいて、全139区画の大規模分譲地「ひばりヒルズ」を展開する強みを活かして、住宅事業のさらなる成長を目指していきたいと思っています。加えて、融資や法務、土地選定からアフターメンテナンスに至るまでのサービス体制を層強化し、付加価値の高い街づくりを推進していきます。

また、アパート経営に加え、土地の取得や賃貸によるストック型収益の拡充にも取り組み、事業ポートフォリオの安定化を図っていきます。

組織面では、生産性向上に向けてグループ全体でのDX化に取り組んでいます。事業部が多岐にわたるため少数精鋭体制のもとで、自社の強みを最大限に発揮し、ものづくりのやりがいを実感できる組織づくりを推進します。創業の精神を礎に100年企業を見据えた持続的成長を実現することも、今後も地域に根ざした総合建設企業として、社会に必要なとされる価値創出に引き続き取り組んでまいります。

時代のニーズを的確に捉え
最適な工法と体制で成長を築く

OUR ACTIVITIES

丸昇彦坂建設のものづくり

～企画から完成、そしてその先まで～

Project Workflow



1. 企画・構想
土地条件や用途、事業性を踏まえ、最適な建築計画を立案します。初期段階から事業全体を見据えた提案を行います。

2. 設計
機能性・安全性・コストバランスをふまえ、お客様の要望を具体化し、施工に必要な図面・仕様書を作成します。

3. 施工準備
施工に向け、工程計画の策定や協力会社の選定、資材の手配などを行い、品質と効率を確保する体制を整えます。

4. 基礎・躯体工事
建物の土台となる基礎工事から骨組みの構築までを担当し、一つひとつ丁寧に施工し、建物の強度と精度を確保します。

5. 仕上・設備工事
内外装の仕上げや各種設備の設置を行い、機能性と快適性に配慮しながら、細部まで心を込めて建物の完成度を高めます。

6. 監理・引き渡し
設計通りに施工されているかを確認し引き渡しを行います。引き渡し後も、点検やメンテナンスで長期的サポートをします。

「ものづくり博2024 in 東三河」
彦坂建設グループとして出展

ものづくり博の様子はコチラから

——大型案件に対応できる技術力「システム建築」について教えてください。

彦坂▼当社が展開するシステム建築「Yes 建築」は、設計から部材製造、施工に至るまでをコンピュータで二元管理し、建築プロセスを標準化・工業化した建築手法です。これにより、短工期・低コスト・高品質を同時に実現しています。鉄骨フレームによる約60mの無柱空間を確保し、梁にはラーメン構造、桁にブレース構造を採用することで、強度と軽量化を両立しています。

また、設計データをそのまま工場生産へ連動させ、部材の事前加工と現場でのボルト接合を基本とすることで、施工効率の向上と品質の安定化を図っています。結果として、工期の大幅な短縮に加え、大空間を活かした柔軟

なレイアウト設計が可能となり、生産性や物流効率の向上にも寄与しています。このようにシステム化された建築体制は、大型案件に対応できる技術力につながっています。

その実績としてコンテスト等に幾度も入賞を重ねる中、2019年度には、横河システム建築主催の東海・北陸・信越ブロックにおける優秀ビルダー賞で第1位を獲得し、施工力と供給力の高さが評価されました。現在では、工場や倉庫、商業施設を中心に、企業の設備・建設工法における有力な選択肢として、当社の主力事業の一つへと成長しています。

——組織風土づくりや若手技術者が育つための教育方法について教えてください。

彦坂▼創業55周年を機に、企業理念

